アートセラピーに関するアンケートご協力のお願い

日本におけるアートセラピーの現状と課題及び災害被災者の心のケアにおけるアートセラピーの可能性を調査しております。つきましては、下記アンケートの回答にご協力くださいますようお願いいたします。ご回答いただきました内容につきましては、研究目的にのみ使用し、第三者に提供することはありません。

《提出期限：４月４日》

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　色川真理（INTO City University London）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 Email: mcoloriver@gmail.com

1. あなたの性別をお聞かせください。（該当する番号を回答欄に記入ください。）
	1. 男性　　　　②女性

**回答**：

1. あなたの年齢層をお聞かせください。（該当する番号を回答欄に記入ください。）

①１９歳以下　　　②２０歳～２９歳　　　③３０歳～３９歳　　④４０歳～４９歳

⑤５０歳～５９歳　　⑥６０歳～６９歳　　⑦７０歳以上

**回答**：

1. あなたのアートセラピーを行うにあたっての立場、資格をお聞かせください。（該当する番号全てを回答欄に記入ください。）
	1. アートセラピスト・芸術療法士　　　②セラピスト
2. 心理カウンセラー　　　　　　　　　④精神科医
3. 作業療法士　　　　　　　　　　　　⑥その他　（　　　　　　　　　　　　　）

**回答**：

４．どのような年齢層の人を対象としてアートセラピーを行っていますか。（該当する番号全てを回答欄に記入ください。）

1. 未就学児　　②小学生　　③中学生　　④高校生　　⑤大学生　　⑥２０歳代

⑦３０歳代　　⑧４０歳代　　⑨５０歳代　　⑩６０歳代　　⑪７０歳代以上

⑫その他（　　　　　　　　　　　　）

**回答**：

５．どのような症状の人を対象にしてアートセラピーを行っていますか。（該当する番号全てを回答欄に記入ください。）

　　①精神的症状を持つ人　　　　　　　　②行動面に問題がある人

　　③発達障害がある人　　　　　　　　　④知的障害がある人

　　⑤身体的に症状を持つ人　　　　　　　⑥特に問題を訴えていない人

　　⑦その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**回答**：

６．どのような場所でアートセラピーを行っていますか。（該当する番号全てを回答欄に記入ください。）

　　①病院、クリニック　　　　②児童福祉施設　　　　③高齢者福祉施設

④教育機関　　　　　　　　⑤障害者施設　　　　　⑥公共施設（公民館等）

⑦その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**回答**：

７．アートセラピーの実施によって、どのような効果が期待できると思いますか。（該当する番号全てを回答欄に記入ください。）

　　①自己表現　　　　　　　　②心の葛藤の調和　　③自己啓発

　　④他者や社会との関わり　　⑤自己の発見　　　　⑥異常行動や依存の改善

　　⑦不安感の解消　　　　　　⑧自己評価の向上　　⑨特に効果はない

　　⑩その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**回答**：

８．日本におけるアートセラピーの実施について、どのような課題があると思いますか。

　　ご意見を記入ください。

　　（例：アートセラピーの認知度の低さ。）

９．被災地においてアートセラピーを実施した経験はありますか。（該当する番号を回答欄に記入ください。）

　　①　ある　　　　　　　②　ない

**回答**：

１０．アートセラピーは、被災体験から引き起こされる心的外傷による精神疾患の改善に有効だと思いますか。該当する番号を回答欄に記入し、それぞれの理由をご記入ください。

**回答**：

①有効である

理由：

②有効ではない

理由：

③分からない

１１．その他、ご意見などをご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。